



HDDの次世代記録技術 MAMR 対応の HD メディアの出荷開始

昭和電工株式会社(社長:森川 宏平)は、ハードディスクドライブ(以下、HDD)の次世代記録技術であるマイクロ波アシスト磁気記録(以下、MAMR)に対応した 3.5 インチの次世代 HD メディアを開発し、2019 年中に販売を開始します。

本製品は、東芝デバイス&ストレージ株式会社が次世代記録技術の MAMR を使用して業界最大記憶容量^(注1)の 18 テラバイト(以下、TB)を実現し、2019 年度中にサンプル出荷を開始するニライン向け HDD に採用された製品です。当社の新技術で開発したアルミ基板製の 1 枚当たり 2TB の高容量メディアであり、従来記録方式^(注2)では第 10 世代^(注3)となります。

クラウドサービスの普及や動画コンテンツ、画像共有サイトなどの急拡大により、データを保管するデータセンターではより大容量の HDD が求められています。当社は、今後も“ベスト・イン・クラス”をモットーに、世界最大のメディア専門メーカーとして、MAMR、熱アシスト磁気記録(HAMR)などの新世代記録技術に対応した世界最高クラスの製品をいち早く市場に投入し、HDD の高容量化に貢献してまいります。

以上

(注1) 2019年2月11日時点

(注2) CMR 方式:従来型磁気記録方式(Conventional Magnetic Recording)のことで、垂直磁気記録方式(PMR: Perpendicular Magnetic Recording)のうち、瓦書き記録方式(SMR: Shingled Magnetic Recording)を用いない従来の記録方式を指す。ランダムアクセス性に優れている。

(注3) 当社の垂直磁気記録方式ハードディスクは、記録容量に応じて次のとおり区分しています。

	2.5 インチ	3.5 インチ
第 1 世代	80GB	160 GB
第 2 世代	120 GB	250 GB
第 3 世代	160 GB	334 GB
第 4 世代	250 GB	500 GB
第 5 世代	334 GB	750 GB
第 6 世代	500 GB	1TB
第 7 世代	670 GB	1.1~1.3TB
第 8 世代	750 GB	1.3~1.5TB
第 9 世代	1TB	1.5~1.8TB
第 10 世代	—	2TB

1TB (テラバイト) = 1000GB (ギガバイト) / 枚

◆ 本件に関するお問い合わせ先 広報室 03-5470-3235